

Q.料金は何のために使われているの？

A.水道・下水道をいつも、いつまでも安心して使えるようにするためです

今まで
事故のない、地震に強い水道・下水道になるよう力を入れてきました。

★ Seismic Resilience Rate in Major Cities ★
避難所等につながる水道・下水道の耐震化率
大都市 第1位

川崎の水道・下水道の地震への強さは**大都市トップレベル**だよ！

地震のときでも避難所や病院で水が使えるようにしています。

避難所（学校）水道と下水道、セットの耐震化が完了

大きな病院など水道と下水道、セットの耐震化が完了

完

地震があっても避難所では水道・下水道が使えるんだね。

そして、これから

地震に強くなっても古くなったら壊れてしまうので、事故が起こったら大変な管や施設から新しくします。消防署や警察署などの大事な施設につながる管で、まだ地震に強くしていないものを新しくします。水道も下水道もどちらも使えないといけないので、一緒に強くします。

浄水場 配水池 水道管 下水道管 ポンプ場・滞水池 水処理センター

ほかにも環境への取組などさまざまな事業を行っています。詳しくはこちら

Q.どうして料金の見直しが必要なの？

A.昔に比べて水が使われなくなっている一方で、工事や修理などの支払いが増えていくからです

今まで
水道料金は30年、下水道使用料は20年近く値上げしていません。

★ Low Water and Sewerage Rates ★
水道料金 + 下水道使用料 (合算)
大都市 第2位 (安い順)

両方合わせると、**大都市で2番目に安い**んだ。

そんなに安いんだ。凄い！

そして、これから

皆さまからの料金収入が減っていく

令和11年度は令和6年度に比べて 水道は 約6億円減少
令和11年度は令和6年度に比べて 下水道は 約8億円減少

昔に比べて、ひとり暮らしの家庭が増え、家庭や工場などで節水が進んでいるため、水が使われなくなっています。

支払いが増えていく

令和10年度は令和6年度に比べて 水道は 約70億円増加
令和11年度は令和6年度に比べて 下水道は 約150億円増加

工事や修理にかかるお金が増えています。

料金収入は減っていくのに、支払いが増えていく見込みなんだ。

令和9年度ごろから赤字となる見込み

Q.これからの料金はどうなるの？

A.必要なお金と市民負担のバランスが取れた料金制度に見直します

学識経験者や市民代表からなる「上下水道事業経営審議委員会」で、今後の料金をどうするか話し合ってもらい、これからの見直しの参考となる意見を取りまとめた「答申」を受け取りました。詳しくは、上下水道局ウェブサイトに掲載しています。



いつも、いつまでも安心して水が使えるように、水道と下水道をしっかり守っていきます。